

フィット

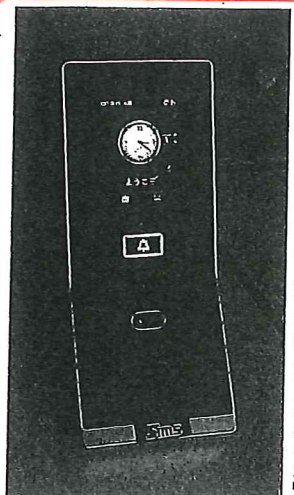
複合生体認証など提案

セキュリティ事業拡充

電気・電子回路、ソフトウェアの開発などを手掛けるフィット(本社 札幌)は、セキュリティ事業にも力を注ぎ、システムのラインアップを拡充している。複合生体認証システムの上位機種「プロバイオ」や「回転式セキュリティゲート」の発売を始めたほか、簡易な勤怠システムも提案。必要なセキュリティレベルや予算に応じ、単体製品を組み合わせて安全で経済的なシステム構築を進めている。

予算に応じてシステム構築

同社は顔認証、指紋認証、暗証番号(タッチパネル)、非接触ICカード(ゼロットケータイ)社製のワイエステクノ(本社・横浜)が輸入元。北大病院臨床研究開発センター、熊本機能病院、札幌市内の賃貸マンション、テナントビルなどのほか、鉄鋼メーカーや設備会社の事務所に納入している。



複合生体認証シリーズの上位機種「プロバイオ」

カメラ台数や利用人数ごとに購入しなくていい利点がある。従来の国内機器と比べると、多機能性と経済性がセールスポイントだ。同社は「認証精度が高いのは静脈認証や指紋認証だが、低気温だとうまく読み取らない場合がある」と指摘する。そこで施設用途や地域性に応じたシステムの使い分けを提案。一般的に顔認証の誤認率は2万人に1人、指紋が100万人に1人、静脈が1000万人に1人といわれ、求められる精度と価格のバランスに配慮しながら複合的なシステムによるセキュリティと呼び掛けている。

プロバイオは顔認証の反応速度を従来の0.9秒以下から0.2秒以下にアップし、最大登録数は1500人から2000-4000人に向上した。指紋認証は最新のセンサーで乾燥、濡れ、汚れに反応し、今までの2000本から4000本へと2倍のデータが保存できる。ICカードの最大登録数は1万件。入室履歴は最大10万件まで蓄積可能だ。

反響速度を従来の0.9秒以下から0.2秒以下にアップし、最大登録数は1500人から2000-4000人に向上した。指紋認証は最新のセンサーで乾燥、濡れ、汚れに反応し、今までの2000本から4000本へと2倍のデータが保存できる。ICカードの最大登録数は1万件。入室履歴は最大10万件まで蓄積可能だ。

従来の機種同様、拡張性の高さも特長とし、エレベーターの特定階数のみに止まるといった他ソフトとの調整が可能。スタンドアロン、ネットワーク構築のどちらにも対応する。

バイオフィットの認証記録を出勤時刻に変換することで、タイムカードをデジタル化するのが「フィットタイム」。残業や早朝・深夜勤務など日付をまたぐ勤務にも活用できる。

パソコンの時刻と連動。従業員部署ごとにCSVファイルで自動出力する。認証記録も出力でき、勤怠管理ソフトウェアを利用することで認証履歴を出退記録としての利用も可能。同社は「簡易な勤怠管理システムとしても運用できる」と話す。

回転式セキュリティゲートは非接触ICカード、顔、指紋と施主の要望や予算、セキュリティレベルに応じて認証機器を選択でき、従来の回転式システムで課題だった複数の人が同時に入ってくるのを防止する。アーム部分も含めてUS304ステンレスを使用。高い防錆(ほうせい)性と、最大200万回の使用に耐えるという耐久性を持つ。故障率の少なさも特徴という。

電源開発など

ドローンで山間部の電力設備点検可能に

無線伝送システムを研究

電源開発と情報通信研究機構(NICT)は、ドローンを活用した電力設備点検無線伝送システムの開発に向け、共同研究を始める。山や樹木に遮られて電波が直接到達

しない状況でも安全にドローンを運航できるというNICTが開発する無線伝送技術と、電源開発の電力設備点検用ドローンに適用し、山間部における点検作業の効率化を

図るための検証と評価を行う。ドローンの運航は通常、操縦者とドローンの間に障害物があると電波が弱くなったり途切れたりし、制御や状態監視が

大成建設など

維持管理作業を軽減

循環式養液壁緑化システム開発

大成建設は、中国電力

エネルギー総合研究所と

共同で、循環式養液栽培

方式を利用した壁取り付

け型緑化システムを開発

した。プランターの上

部に配置した給排水管を

通して養液を均一に供給

し、効率よく循環利用で

きる。施肥や設備の清掃

など維持管理作業が容易

となり、15%程度の運用

コスト低減が見込めると

いう。

壁面緑化は、都市部でのヒートアイランド現象

の抑制技術として有効だ

が、壁面に沿ってプラン

ターを設置するため比較

的に土壌が乾燥し植物が枯

れやすい。施肥など植生